



学校だより はんたましい

西原町立坂田小学校
令和7年2月5日
校長 松川 邦昭
児童数 835名



学年度末に向けて 一日一日を大切に

この間、お正月を迎えたばかりですが、暦の上ではもう2月となり、保護者の皆様も月日の過ぎ去る早さを感じにいられていることでしょう。

さて、2月に入りいよいよ学校では、学年度末に向けて学習や生活のまとめとまっしぐらに進んでいきます。6年生は卒業、他学年は修了に係わる様々な取組を行う中で、特に学習内容の確実な定着を図るため、1月から取り組んでいる今年度2回目の「家庭学習強化月間」では、一日の生活表に照らし合わせて家庭学習時間の目安を持ちながら取り組んでいきます。また、各学年児童の模範となる家庭学習ノートの展示も参考になつていきます。併せて「計算力テスト」等も計画して学習のまとめに力を入れております。そして、一月十三日には、5年生、6年生を対象にした沖縄県学力到達度調査（国語、算数）が実施されます。この学力調査は、本県児童生徒一人一人の学力の定着状況を把握するとともに、各学校における授業改善の充実に資することを目的としています。それぞれの学年で身につけるべき事項をしつかりと身につけて「学年のたすき」を渡せるように、残された日々を一日一日大切にしながら子どもたちの指導に当たって参りたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

ドリーム・スクール大成功

二月一日（土）の授業参観日に併せて、各種を持つ保護者・地域の皆さんによる「ドリーム・スクール」の授業が3年生から6年生の各教室で開催されました。子どもたちに仕事の尊重と働くことのやりがい、生きがいについて様々な視点から授業をして頂きました。子どもたちは、将来の夢や希望を持ち、「なりた自分、なれる自分」の志を高めることができました。熱い情熱が伝わり感激しました。

子どもの願いとは

子ども一人一人が、常に願っていることは何だろう。私は、いつもこの問いを心に抱きながら、教職人生を歩んできました。

- 子どもは、愛されたいという願いを持っている。
- 子どもは、認められたいという願いを持っている。
- 子どもは、話を（思い）聞いて欲しいという願いを持っている。

当たり前のことかもしれませんが、大人も自分自身が原点に返ることで気づくことがあります。子どもの立場に立つ視点を忘れてはいないだろうか。

それぞれに個性があり、感受性の度合いが違う子どもたちですが、怒鳴られ、叱られたりすることが楽しいはずがありません。もちろん自他の生命の安全にかかわること、動植物に対する冒とく等に対しては、厳しく教諭することが必要です。私は、教頭8年間、校長6年間の中で、様々な児童講話や保護者講話では、いつも、『子どもの良さを認め、褒めて、励ます』ことを念頭においてお話をしてきました。子どもは、直接自分が褒められなくても、まわりが褒められ認められることで感化されることも多いと思うからです。そして、そこから生まれるものは、眩しい笑顔です。人間だけが持つ「笑顔」は、何ものにも代えがたい美しいものです。子どもの美しい笑顔をいつまでも見続けていたいと思います。

自学自習の大切さ

小学校生活の6カ年では、特に「基本的な生活習慣」を身につけることが重要となっています。その中でも「相手の話をしっかり聴くこと」、「自分のことは自分ですること」、「相手に迷惑をかけないこと」、「整理整頓・清掃ができること」、「集団生活を送る上でのきまりを守ること」等を身につけなければならないことがあります。

自学自習においては、宿題があっても無くても、自然と自ら進んで「学びに向かう習慣」を身につけることがとても大切です。宿題があるから仕方なしに学習するとか、人に言われたから嫌々、机に向かって学習するといった受け身的な学習では、長続きしないばかりか、学習内容の定着は難しくなってきます。また、テレビやインターネット、ゲーム SNS 等、子どもの興味関心を高め、心を揺り動かすものもたくさんありますが、時間を決めて自己研鑽を図る時間をつくることも肝要です。時間にけじめをつけながら習慣化して、毎日継続した学習を進めていくと、やがて自分で自分に合った学習方法に出会ったり気づいたりするようになります。そして、「学ぶ楽しさ」や「学ぶ喜び」を感じるようになっていきます。

自学自習は、学校で学習したことやこれから学ぶ事などを更に興味関心を持って調べてみたり、練習したりすることでいっそう学習を深める機会となります。主体的に意欲を持って、自らの学びを進めていくことは、自分の知的財産を殖やすことにつながり、豊かな人生を築き上げるとも価値のある素晴らしいことです。この学習する態度こそ「生きる力」と言えます。

このような自学自習の習慣化は、中学、高校へと進学するにつれて自分自身の大きな糧となっていくものと思います。毎日30分でも自分から宿題や課題を持って学習することを進めます。習慣化するまでは、なかなかうまくいかないかもしれません。保護者・教師は、やさしい内容を少しずつ毎日行うことから始めさせて、点検してあげたり、頑張った成果を認めたり、励ましたりしながら、子どもたちが継続できる配慮をしてあげるよう心がけたり、自信がもてるような機会を与えることが大切です。子どもたちが、学校から帰った後、子どもたちが、自ら進んで学習していけるよう保護者の皆様においてもご協力くださいますよう宜しくお願い致します。

